

災害が発生したら、自宅にいるべきか…避難施設に行くべきか…

# 雨量が増している。 避難した方がいいの？

「災害が起きたらすぐに避難？」と思いがちですが、かえって危ない場合もあります。自宅に残るか、避難施設に行くか、その選択と判断のポイントも日頃から周囲の方と話し合っておきましょう。「避難施設までの経路は実際に歩いておいた方がいいの？」「避難するとき何を持っていけばいいの？」「避難施設での注意点は？」など、不安に思うことは事前に確認しておくといざというとき安心して判断できます。

問 防災課 ☎724・2107



昨年的大雨で陥没した道路の様子



昨年我が家は、避難施設で過ごしました。でも、あの日、どんどん雨が激しくなっていて子どもたちも恐る恐る避難施設に向かいました。かえって危なかったのかもしれない…

### ワンポイントアドバイス

避難の判断にあたっては、市からの避難情報を参考にしてください。自宅が安全であれば避難は必要ありません。もし避難施設への移動が危険であれば、上層階へ避難をして安全を確保しましょう。なお、地上が浸水すると一気に地下に水が流れ込んでくる可能性があるため地下室等は危険です。



### 避難の判断ポイント

不安に感じたり危険と判断したら避難施設へ。また、次の区域に該当する場合は特に注意してください。

- 浸水想定区域
- 土砂災害警戒・特別警戒区域

感染症にも注意が必要です！

## 避難施設での感染拡大防止のポイント

多くの方が集まる避難施設では、感染症罹患のリスクが高くなります。市では避難施設での三密を防ぐため、収容スペースを増やす等の対策を行います。

一人ひとりの心掛けで感染拡大防止にご協力をお願いします。

- ▶ 自宅での安全確保が可能な方は、**自宅での待機**をお願いします
- ▶ 避難施設の過密状態を防ぐため、可能な場合は**安全な親戚や友人宅等への避難**も検討しましょう
- ▶ 避難施設内では**こまめな手洗い、咳エチケット等の基本的な感染予防対策**を徹底してください。マスクや除菌スプレーなどは各自で準備してください
- ▶ 風水害の発生が予想される中、発熱や体調不良などの症状がある場合は、**早めにかかりつけ医等に相談**し、指示を仰ぎましょう

## 備えよう！非常持ち出し品

避難施設で数日を過ごす可能性もあります。持ち出し品を準備し、避難施設へ持参しましょう。

- |                                 |                                   |                                    |
|---------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水    | <input type="checkbox"/> 常備薬      | <input type="checkbox"/> 着替えの服     |
| <input type="checkbox"/> 食料品    | <input type="checkbox"/> ヘルメット    | <input type="checkbox"/> 下着        |
| <input type="checkbox"/> 預金通帳   | <input type="checkbox"/> 防災ずきん    | <input type="checkbox"/> 毛布        |
| <input type="checkbox"/> 印鑑     | <input type="checkbox"/> マスク      | <input type="checkbox"/> タオル       |
| <input type="checkbox"/> 現金     | <input type="checkbox"/> 軍手       | <input type="checkbox"/> 洗面用具      |
| <input type="checkbox"/> 健康保険証  | <input type="checkbox"/> 懐中電灯     | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ   |
| <input type="checkbox"/> ばんそうこう | <input type="checkbox"/> 充電式ラジオ   | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ |
| <input type="checkbox"/> 包帯     | <input type="checkbox"/> 予備電池     | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ     |
| <input type="checkbox"/> 消毒液    | <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 | <input type="checkbox"/> 生理用品      |

※乳児のいるご家庭は、ミルク・紙おむつ・哺乳瓶なども用意しておきましょう。

## 東京マイ・タイムラインを 活用

風水害時に自分がとる避難行動等を整理し、あらかじめ決めておくことは、対応漏れや逃げ遅れを防ぐために効果的です。

市では水害について考え、避難時の行動を決めておくツールとして東京都が作成した「東京マイ・タイムライン」を防災課（市庁舎3階）で配布しています。

避難に必要な防災情報を理解し、自らの環境や地域の特性に合った避難行動をとれるよう備えましょう。



## ハザードマップで危険を 確認

土砂災害ハザードマップは土砂災害の危険がある市内の区域、洪水ハザードマップは浸水被害の発生が予測される区域が示されています。お住まいの近くの危険箇所や、いざというときの避難施設を確認しておきましょう。

ハザードマップは防災課（市庁舎3階）や各市民センターで配布しているほか、町田市ホームページでご覧いただけます。



土砂災害ハザードマップ 洪水ハザードマップ

## 災害時に必要な情報を配信します

### 町田市メール配信サービス、LINE

災害時に緊急の呼び掛けをする「防災情報」や「気象・地震情報」、「ごみ・資源情報」などを地域別に配信しています。防災無線の内容も確認できます。



携帯電話版



スマートフォン版